

龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会会議録

			記録者	スポーツ推進課 荻野 恵美			
供 覧	部 長	次 長	課 長	課長補佐	主査・係長	グループ員	
件 名	令和5年度第1回龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会						
日 時	令和5年7月27日（木）午後2時00分～午後3時40分						
場 所	龍ヶ崎市役所5階 第一委員会室						
主 催 者	龍ヶ崎市長 萩原 勇						
出 席 者	[委員] 田蓑健太郎会長、山崎伸夫副会長、山田忠雄委員、池田由枝委員、酒井一浩委員、飯島進委員、石川賀杜代委員、中山武委員、北澤宏委員、太田垣淳一委員、三淵和也委員、青木サヨ子委員、上原正和委員、高野美枝子委員、塚本節子委員、吉野功一委員 欠席委員…田畑亨委員、安藤佳子委員、菊地光夫委員、根岸安里子委員						
	[市] 坪井龍夫健康スポーツ部長、佐々木英一健康スポーツ部次長 スポーツ推進課…昇一信課長、高野雄次課長補佐、記録者						
傍聴人の数	0名						
会議の内容	議 事 (1) 龍ヶ崎市第2次スポーツ推進計画の進捗管理について (2) 龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画の進捗管理について (3) 進捗管理の中間報告廃止について (4) その他						
情報公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公 開	非公開（一部非公開を含む）とする理由					
	<input type="checkbox"/> 部分公開 <input type="checkbox"/> 非 公 開	公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）				年 月 日	
<p>下記については、令和5年7月27日（木）に開催した令和5年度第1回龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会の会議録に相違ないことを確認したので署名する。</p> <p style="text-align: center;">会 長 _____</p> <p style="text-align: center;">委 員 _____</p> <p style="text-align: center;">委 員 _____</p>							

	発言の内容（要旨）
事務局	〔開会〕 それでは定刻となりましたので、ただいまから令和 5 年度第 1 回龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会を開催いたします。はじめに、本年 4 月の人事異動により事務局の職員にも変更がありましたので、改めてご紹介いたします。
事務局	〔事務局の紹介〕
事務局	それでは、開会に先立ちまして、当審議会の会長であります、田籾会長よりご挨拶を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。
田籾会長	〔会長・挨拶〕
事務局	続きまして、選出団体における人事異動により新たに委員となられた方をご紹介いたします。中学校体育連盟から城西中学校長北澤宏委員です。
北澤委員	〔北澤委員・挨拶〕
事務局	続きまして、龍ヶ崎市スポーツ協会から、常任理事山田忠雄委員です。
山田委員	〔山田委員・挨拶〕
事務局	ありがとうございました。 新委員の方についてのご紹介は以上となります。尚、新委員の任期は龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会条例第 4 条第 1 項の規定により、前任者の残任期間である令和 6 年 11 月 30 日までとなりますのでよろしくお願いいたします。 議事に入る前に 1 点委員の皆様をお願いいたします。発言をする際は必ず席の前のマイクのボタンを押してから発言していただくようお願いいたします。また発言が終わりましたら、同じようにマイクのボタンを押してくださいませようお願いいたします。 それでは会議次第に従いまして議事に移りたいと思います。ここからの議事進行につきましては、龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会条例第 6 条第 1 項の規定により会長にお願いしたいと思います。田籾会長よろしくお願いいたします。
田籾会長	よろしくお願いいたします。 初めに、本日の審議会は委員総数 20 名のところ 15 名が現在出席しております。従いまして過半数が出席しておりますので会議が成立していることを宣言いたします。 次に、会議録の署名人の指名をさせていただきたいと思います。今現在、飯島委員が到着されておりませんが、遅れて来られるということでございますので、飯島委員と吉野委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。
吉野委員 各委員	〔承認〕
田籾会長	はい。それではよろしくお願いいたします。 おふたりには会議録が作成され次第、事務局からご連絡をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。 それでは早速ですが議事に入りしたいと思います。議事（1）の「龍ヶ崎市第 2 次スポーツ推進計画の進捗管理について」事務局より説明をお願いいたします。
事務局	(1) 龍ヶ崎市第 2 次スポーツ推進計画の進捗管理について 〔会議資料に基づき説明〕
田籾会長	はい、ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご質問又はご意見等がございましたらお願いいたします。 それでは委員の皆様が今考えている間に 1 点私から、ちょっと教えていただきたいのですが、1 の 1 の 1-1-1 マラソン大会の開催というところで、規模を縮小した形でリレーマラソン大会を検討しているということですが、現在どのような検討段階でしょうか。わかる範囲でお願いいたします。
事務局	私からご説明させていただきます。ハーフマラソン大会については、いろいろ様々

	<p>な企業様からの協賛金や、いろんな団体の方々にボランティアをお願いしまして、当初は大規模で実施することを考えていましたが、他の全国的なマラソン大会を見ても、参加者が人気のある大会についてはありますが、人気のない大会についてはなかなか集客が見込めないと。あと、コロナもあり、今年の5月から5類感染症に移行されて緩和されてきてはいますが、昨年の時点ではまだまだ不透明というところで、市としましては今年度、5年度につきましては、たつこの総合運動公園周辺を使用しているリレーマラソンという形にしました。1人でマラソンするというわけではなく、グループで駅伝に似たような形で、駅伝のようにきっちり1人1区から5区まで走るわけではなく、何回でもリトライして、走ったりすることができるというような形のリレーマラソン大会というものを中心にやりたいと考えております。日程など詳細につきましてはこれから決めるところですが、2月中旬頃を予定してまして、今年度はリレーマラソンという形で開催したいと考えております。簡単ですが以上です。</p>
田蓑会長	はい、ありがとうございました。その他ございますでしょうか。
山田委員	38ページのたつこのアリーナ、フィールド、スタジアムのLED改修工事が載っておりますが、バックスタンドっていうのは、これはいわゆるスタンド、観客席のことですか。
事務局	はい。
山田委員	観客席ですね。この件に関しまして、観客席を外野のポール際まで延長するようなお話はございませんでしょうか。
事務局	はい、今現在そのような計画はございません。
山田委員	はい、ありがとうございました。
田蓑会長	はい、お願いいたします。
北澤委員	<p>21ページの事業No.2-2-2。私は、龍ヶ崎市中学校体育連盟の会長ということで関わっていますので、この辺のところはすごくお世話になっております。ありがとうございます。</p> <p>今、市としても、部活動の地域移行に取り組み始めていて、なかなかこれが制度化するまでには少し時間がかかるのかなっていうのが正直な感想です。それでも、このような形で外部指導者の活用ということを進めていただいているありがとうございます。</p> <p>スポーツ指導者バンク制度による部活動への指導者派遣数ってありますが、このスポーツ指導者バンク、人材バンクのようなものだと思いますが、どのくらいの人数が現在登録されているのか教えていただければと。</p>
事務局	正確な数字は今覚えてはいないんですが、確か18名ぐらいは登録者数がおられたと思っております。
北澤委員	<p>ありがとうございます。18人という数が多いか少ないかわからないんですが、これから地域移行ということを考えると、そういったことに携わっていただけるような地域住民を発掘するというか、啓発していくというか、そういったことも必要ではないのかなっていうふうに感じます。</p> <p>もう一つ、次のページ22ページの2-2-3ですね。運動部活動の支援体制予算額が1000万円も立ててもらっています。これは、生徒を派遣する際の交通費です。今、バス代が高騰してまして、実際のところ1.3倍とか、そんな感じです。これは教育委員会の方もすごく頭を悩まされているところだと思いますが、これは予算上げてくれということではないんですが、実際どのくらいここ数年上がっているのかということとは把握された上で、多分、先ほどの報告にあるように、関東大会や全国大会に出場している人数が増えてきているということですので、この辺がコロナ前と同じように大会が開催されるとすれば、多くなることが見込まれるのかなというふうな感想です。以上です。</p>
田蓑会長	はい、ありがとうございました。他にございますでしょうか。

	はい。お願いいたします。
池田委員	すいません。21 ページ。今（北澤）先生がお話しした、スポーツ指導者派遣事業で、先生城西中なので、卓球と剣道など派遣されていると思いますが、去年これを審議したときに、どんなふうになるのかなってすごくみんな不安でした。どんな感じであまり密着しているのか、内容を簡単にお聞きしたいなと思います。
北澤委員	はい。私も今年の 4 月から赴任したもので経緯は詳しくはわからないわけですが、先日、6 月から市の総合体育大会、県南、県というふうに繋がって今やっています。その県南大会市の大会の時には、女性の方に卓球の外部指導者ということで入っていただいています。会場に足を運んでいただき、試合中は後ろの席に座り、タイムアウトの際には指示を出したり、良い関係でやっているような印象を受けました。何人か県南大会に出場した生徒もおりますが、ただ回数的には基本的には土曜日から日曜日のどちらか 1 日練習するとき、週に 1 回の練習に限られていますので、その部活動の地域移行というお話と考え合わせると、そちらも導入の初期段階では多分その休日の指導に当たるって言うところだと思います。ゆくゆくは平日の部活動の指導もって言うような流れだと思いますが、なかなか学校が終わって 4 時頃から 6 時ぐらいまで、その都合のいい時間に平日の指導にあたっただけのような人、茨城県龍ヶ崎市だけではなく、全国の学校でそういった人が揃えられるのかなって言うのは心配なところではありますが、龍ヶ崎市としてはこのような実績を残していることは大きいのかなと。そこからどんなふうを広げていけるのかって言うところが今後の課題になってくるかなと思っています。
池田委員	ありがとうございます。
北澤委員	ごめんなさい。補足ですが、学校独自で無料でボランティアみたいにやってくさっている指導者の方も各学校にいます。本校でしたらテニスや柔道は卒業生の保護者の方々が好意で指導していただいています。その方たちは、市の事業の外部指導者とは別の形で外部指導者ということで登録をして部活動に携わってくださっている方もいます。
池田委員	まだ指導者が大変少ないということですが、今後どのような計画で指導者を集める予定なのかお聞きしたいなと思います。
事務局	指導者を増やすことについてですが、スポーツ協会などの関係団体の方にお声掛けをしまして、そのスポーツに精通した方、例えばバスケットや野球などそれぞれの協会の役員さんがいらっしゃいますので、その方々を通じて、経験者の方を募ってご推薦いただいて、登録していただくという流れで進めていきたいと思っています。
事務局	部活動の地域移行については、国では令和 7 年度までに休日の部活動を地域移行する。それ以降は段階的に地域移行するという話になっています。当市におきましては今年度から文化・生涯学習課が担当になりました。スポーツだけではなく、吹奏楽部などもありますので、メインは文化・生涯学習課です。今年になって 1 回打ち合わせが行われたところです。指導者バンクについては部活動地域移行というよりも、それ以前から、もう 10 年以上前から派遣している制度だと思いますが、教師の方で競技に対して専門性のない方のフォローということで週 1 回程度、この日は技術的な指導ということで派遣する、それとイコール部活動の地域移行というのはなかなか難しいかなというふうに担当レベルでは考えています。形もいろんな形があると思いますが、先進事例として、他の地域では専門性のある方を迎え入れ、それなりの報酬を支払い指導者を派遣するという例もあります。すべての競技でお金を出すこともなかなか難しいという中で、少年団本部長も本日いらっしゃいますが、少年団は実際ボランティアで土日を中心に指導を行っている。中学校も本当に地域移行するのであれば平日の活動はやめて週 1 回とか土日を中心に活動するというのは可能だと思いますので、そういったことも考えていかななくてはいけないなというふうに考えています。すいません。まとまんない話ですが。
池田委員	はい、ありがとうございます。去年確か指導者がいなければ流通経済大学やクラブ

	ドラゴンズの方にも依頼できるんじゃないかっていうお話しをしていたと思います。会長さんの方は何かありますでしょうか。
田籾会長	はい。ただいま事務局からの説明を聞いておまして、流通経済大学が全くすっぽりと抜けているなというふうに聞いておりました。
事務局	すみません。
田籾会長	<p>正式に大学にそのような相談依頼があったかどうかという学部にはあったかもしれない。そこはちょっとわかりません。大学全体として、今私学長室長仰せつかっておりますので、すべての学部に入ってくる情報は全部学長室に入って参ります。その中には、今のところありませんでした。ただ、そうは言いましても、他の近隣の自治体と比べ、今回のこの資料にも、流通経済大学という固有名詞がいっぱい出てきます。やはり大学は資源としてあるということは、これは最大限使っていただいているというふうに思っております。</p> <p>これは大学側の立場の発言になりますが、例えばスポーツ健康科学部の学生が日中、平日ですね、どういう形で出ていけるかというそれは単位化すればいいんです。学校に行き行って教えることで学生は単位がもらえるのであればみんな喜んでいきますので、カリキュラムを変えればいいってだけの話なんです。ただ、これにもメリット、デメリットがありまして、メリットは当然学生ですので指導者がたくさん確保できる。一方で、単位を取ってしまえば、次の年どころか春は行くけど秋は行かない、コロコロ指導者が変わってしまうことが果たして子供たちにとっていいのかどうか。そのような議論の余地は残されているかというふうに思います。現実問題として、今外部委託ということですが、日本全国、一番の壁が人件費どうするんだということで、やはりそこは学生のパワーを一つ借りるっていうのは選択肢のうちの大きな方法かなというふうには個人的には思っているところです。一方でこれまでずっと携わっていただいているボランティアの方などを排除するというよりは、私、今日の資料も見ていてやはり気になったのが、指導者養成講習会です。やはり参加者が少ないと。時代は変わっておりますので、昔やっていた、或いは好きだから教えると、その気持ちはすごくありがたいんですが、やはり事故それから怪我、そういったことを考えますと、どこかがきちっと音頭を取ってしっかりとした講習会を受けていただく。そのことによって、よりよい指導環境を作っていくということは、これから求められるというよりは、もうすでに求められています、なかなかすべてを一気にカバーするというのは難しいかなと思っております。ぜひ流通経済大学、スポーツ健康科学部だけではなくて、例えばサッカー部にはいろんな学部学科の学生がいます。かといって、トップチームで試合に出場できる人数は限られていますので、そういった学生の次なる目標といったらその学生に怒られますが、今はサッカー部でトップチームにはなかなか入れないが、いろんな経験を通して、将来指導者になりたいという希望を持っている学生もたくさんおりますので、そういった学生を募集していただき、人材活用していただければ学生の教育にもいいかなというふうに思っておりますので、ぜひ大学に早めに言っていただければと。どうしてもカリキュラムと絡んできますので、カリキュラムが絡んでくると文部科学省との関係がありますから。当然大学としてはカリキュラム変更の届け出という事務的な手続きが必要になりますし、その手続きの前には、当然、教授会での議を得るということがありますので、少し余裕を持って早めに言っていただければありがたいかなというふうに思います。とは言っても完全移行はまだまだ先ですので、先取りをしていく、そういう考えがあるかどうか。</p> <p>以上です。よろしいですか。</p>
池田委員	ありがとうございました。今までいろんなスポーツに関して、龍ヶ崎市はここ30年ぐらい近隣の市町村からいつも遅れをとっていたような。どんなことに対してもそういう歩みがあると思います。少子化なので、今後将来の子供たちのため、本当に子供の運動や体力増進など大事だと思いますので、それをやっていただければと思います。ありがとうございました。
山崎副会長	すいません。先ほどの件で。スポーツ指導者を派遣しているスポーツ協会として

	<p>は、年月は結構経っております。実際に今北澤委員からもお話ありましたが、城西中の卓球部で指導されている方は年にほんと60回以上毎年やっていただいております。この方については、一番、積極的に参加していただいて協力させていただいてると思います。ただし、他の部でもやってもいいという方はおりますが、やはり学校側とのマッチングがうまくいっていない部分も多々あります。ですから、人数の登録者と学校の希望に応じたマッチングがすべて可能ではないというのと、やはり学校関係の指導者となると規制がどうしても出てくる。先ほども言った土日中心になってしまうということもあります。基本的な我々の派遣の中身としては、あくまでも学校ではできないことの補助というのを大前提としておりますので、それ以上踏み込むことはできない。学校教育の中ですから。合わせてそういう形でどうしても指導者の方も少し二の足を踏んでることも実際あります。多少の礼金をお支払いしていますが、実際それでは絶対済まないの。そういったものからすると、現状の中でこれが本当に正しいかどうかというのは難しいと思います。会長もおっしゃっていた通り、いろんな形でできるものとできないものを分けながら、まして学校の部活が大幅に変わるという現状を本当に認識しないと昔型のやり方では絶対に通じないと思っていますね。やはり若い方の意見をどんどん組み入れていかないと、我々の年代の物事では視野が狭くなりますので、どうしてもそういうことは提言していきたいなと思っています。以上です。すいません。</p>
<p>田蓑会長</p>	<p>ありがとうございました。 お願いします。</p>
<p>青木委員</p>	<p>私は全然今までの話と違って、どちらかと言ったら高齢者向けの運動についてのお話ですね。1-1-8の8ページです。先ほども指導者についてのお話がありましたが、高齢者の方で私が携わっているのは、いきいきヘルス体操という体操です。年間ですると平均2万人はお年寄りの方が参加しています。かなり高齢者の中では運動している人が増えたなっていう感じの数字になっています。そのためには、指導者が必要になります。県の健康プラザの方から指導を受けて指導者を養成しています。ここに実施内容がありますが、昨年指導者養成講習会を行いました。私も講習の講師として参加しましたが、龍ヶ崎市は4名応募があり、実際は3名になりましたとあります。しかし蓋を開けて、実際に活動に参加してもらおうと、今は1人しか残りません。このような状況で、いきいきヘルス体操の指導士となる資格が50歳以上。高齢になってからの指導士という条件で皆さん指導士となっておりますが、年を取っていくので指導ができなくなり、高齢の指導士から徐々に欠けていきます。なので、(体操を)やりたい方はどんどん増えていますが、指導士が高齢化をしてだんだん欠けていくという状況です。体操会場はたくさんありますが指導士が足りないという状況です。市の健康長寿課の方でも、今年も各家庭に回覧版でチラシを回してもらったりして募集をかけていますが、龍ヶ崎市はいろいろ遅れている話もありましたが、確かに、つくば市は定員15名のところ30名の応募があり、抽選で15名に決めた。龍ヶ崎市はいくら募集しても4人集まって残ったのは1人。せっかく講習会を開いて指導者を育てても残らないっていうのが現状ですね。どうしたらいいかというわけではないんですが、健康長寿課の方にはそれなりに力を貸していただいています。今、流経大や若者の運動の話がたくさん出ましたが、高齢者の運動についてももう少し話があってもいいのかなんて思って今お話いたしました。あとで第3次スポーツ推進計画でも、まいん健康サポートセンターの健康コミュニティ、まいん健康サポートの話も出てくると思いますが、やはりお年寄りは、遠くでは体操会場に行けないので、歩いて行ける近くのコミュニティセンター、集会所などです。逆に、今度指導士はその会場まで車の運転がだんだんできなくなる。そうすると、歩いていける会場も少ないというので、今、本当に悪循環を繰り返しています。なので、もう少しこの高齢者の運動について、目を向けていただけたらいいかなと思ってちょっと意見しました。よろしくお願いします。</p>
<p>田蓑会長</p>	<p>ありがとうございました。 なかなか今すぐ解決するのは難しいと思いますが。以前、商工会の会長が小さなジ</p>

	<p>ムをいくつも作るなんていう話をされていて、そうかそうかと思っておりました。あれから随分時間が経ちましたが、今テレビCMを見ていると、c h o c o Z A P っていうのをやっています。c h o c o Z A P。ちょっとトレーニングしましょう、本当にちょっとやりましょうっていう。狭いところでちょっとちょっとみたいな。そういう方向も今後龍ヶ崎市においてはですね。ただ、何をやるにしても、やはり足を引っ張るのは財政ですので、その辺りがんばってつけていただくしかないですね。</p>
青木委員	<p>財政という面では、高齢者が元気でいれば、介護保険を使わなくて済むということで、介護保険料も少し少なくなるという方向にもつながると思いますので、高齢者の方々がいつまでも元気であることが健康寿命を延ばし、これから大事ななと思っていますので、市の方でも少しよろしくをお願いします。</p>
田籾会長	<p>はい、ありがとうございます。 先生お願いいたします。</p>
太田垣委員	<p>またちょっと話題が戻ってしまって恐縮ですが、先ほどの部活動の地域移行の話に関して、当校市立学校ではありませんが、当事者として少し状況と課題定義をさせていただきたいと思っています。</p> <p>当校では、部活動指導員は今 4 種目で採用させていただいています。ただ、本当に教員の平日放課後、それから週末の稼働もきゅうきゅうとして、教員の中には何か持病を持っていたり、体が万全でない教員も何割もいますので、そういう意味では頭数大体部活動の顧問は 2 人付ける。少なくとも 1 人に大会の引率など固まらないようにということで、教員の頭数の半分の部活動を今最大と言われています。ただ、今申し上げましたように、教員の体調も万全でない中で、今本当に自転車操業で続けているところです。その中で、平日についてはある程度教員も授業の準備などで学校にいる中での顧問なので部活に張り付きはそれほどないんですね。ですが、週末については、学校に勤務しないところに大会の引率に時間を当てなければならないということで、非常にその働き方改革という意味では大きな影響があります。そういう意味で、2 点ほど。</p> <p>まず 1 点、当校に部活がある種目に関して、その部活動の一環として週末に大会を引率するのはある程度この中でもコントロールができますが、割と競技者人口の多い水泳については当校部活がありません。ほとんどの子供はクラブチームに入っていてそれで中体連高体連の大会に参加しますが、なぜか学校の教員が引率をしなければいけないんですね。部活をやっていないのに週末の時間が取られる。これ、ここで指摘させていただく課題なのかどうか分かりませんが、様々委員の方がおられる中でこういう課題があるっていうことを共有させていただければと思っています。スキーもそうですね。ちょっといびつな顧問業務で目に見えないところで教員の働き方改革っていうのが触まれている面が一つあります。</p> <p>それからもう 1 点。大会の引率というところで、やはり子供たちもそれから古い文化で育った教員も大会で良い成績を取ったら偉いんだっていうそのスポコンの時代の文化の名残っていうのはまだゼロにはなっていないです。龍ヶ崎市は一方で働き方改革だとか障がい改革の推進というところで、この部活動指導者の活用などをやりながら、他方では大会の主催者として大会をたくさんやることをある意味後押しもしている、かつ、先ほどのように、県南大会以上、全国大会に出場したら激励金を与えるというのは、それはある意味後押しをする、上にいったら勝ったらいいんだという勝利至上主義のように見える政策も同時にしている読み取り方もできるのかなと思います。そこをそのスポコン勝利至上主義でなく、その大会のオーナーだとかという立場の方も含めて、トータルじゃあどうあるべきかっていうところを一步引いて考えていただく目があるんじゃないかなっていうのが一つ。</p> <p>それから、もう一つ引いて考えると、子供たちこれから週末だけではなく、放課後部活動は少し控えめにやりましょう。控えめにやったとき、今後この子供達はその時間どこにいくんですかって問があります。子供たちはそれなりに部活で子供同士の関係を作り社会性を育て、あるいは異年齢の先輩たちとコミュニケーションをとる術を学んでいます。部活動が少し制約されたとき、その教育機会がどこにあるのかって</p>

	<p>うところで、私たちの学校では、大会だけではなく、この前撞舞という祭りがありました。部活動の生徒達を動員して神輿を担ぎました。部活動以外の時間の使い方がある。地域って楽しいんだっていうことに接点を持ってもらうために声をかけました。</p> <p>ある意味、街を見てもう龍ヶ崎商店街の街中は閑古鳥が鳴いて、子供達の姿が一切なくなった中で、子供が街に戻っていく最後のチャンスかもしれないんです。そう考えたときにこれはスポーツだけの話だけではなくて、まちづくりのチャンスとして部門横断で考えていただく話なんじゃないかなというところで問題提起をさせていただければと思います。</p>
田籾会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>先生、本当おっしゃる通り。撞舞、八坂祇園祭のときには、こんなに龍ヶ崎って子供がいるんだなって思うぐらいみんな楽しそうに来ていました。ありがとうございました。</p> <p>はい、お願いします。</p>
酒井委員	<p>先ほどお話しに出ていましたが、指導員がいなければクラブドラゴンズへ依頼をした場合、受け入れられるスポーツはどのぐらいあるのかなど。例えば野球やサッカー、剣道・柔道などいろいろあるかと思いますが、すべての種目を受け入れられる状況でありますでしょうか。</p>
田籾会長	<p>クラブドラゴンズだけではない。</p>
酒井委員	<p>はい。</p>
田籾会長	<p>クラブドラゴンズも人材というのは限りがあるかと思うので。ただクラブドラゴンズでやっていない部活は大学にもある。とはいえ、それ以外、大学でもクラブドラゴンズでもやっていないスポーツについては、指導者といわれても多分難しいと思います。</p>
酒井委員	<p>そうですね。</p>
田籾会長	<p>今のところ何にも基準がありませんので。1人やりたい子供がいたらそれは指導者をつけるのか。それでも1人だったらつけないのか。10人、20人いれば、指導者を用意するのか、何も基準がないので、なかなか今明確にお答えするのが難しいと思いますが。クラブドラゴンズとしてはどうですか。</p>
三淵委員	<p>はい、今日午前中に文化・生涯学習課の方と実は打合せをしました。キックオフ的な打合せなので顔合わせ程度でしたが。クラブドラゴンズとしては、昨年から茨城県モデル事業という形で高校生に対してラグビーの地域移行をやらせていただいています。これは高校になりますので取手一高さんと守谷高校さんを対象。また当然ラグビー自体の人口も減っていますので、対象の生徒が4名、5名。試合にも出られない。まずは合同チームで我々の人材を派遣してやらせていただいています。</p> <p>あと、新体操と陸上においては、もう10年前から大会に出るアスリートクラスがあります。この2種目については今後地域移行になりうるだろうと。形としては派遣型というよりは拠点型に近い形でやらせていただいています。今年から陸上においては中体連登録をドラゴンズとしてもさせていただき、私も県南大会、県大会通じて審判に行かせていただきました。やはりこの人材というよりは、どうしても試合が渋滞してくると、試合に行ってしまうと練習ができない。今そういったところも肌で感じている状況です。</p> <p>当然我々も今の人材の中でできること、我々ドラゴンズとしてできることしかできませんので、様々なこの問題点をしっかりとテーブルの上に乗せて、ドラゴンズとしてできることはしっかりと協力していきたいという気持ちであります。</p> <p>以上です。</p>
田籾会長	<p>ありがとうございます。</p>
酒井委員	<p>スポーツ少年団として何ができるかということを考えてみた場合、団として加盟し</p>

	<p>ているのは 30 団体あります。その 30 団体すべて把握しているわけではありませんが、私が所属している団体、柔道ですが、小学校、中学校の生徒も預かっています。中学校の生徒は、土曜日や日曜日、部活以外の曜日に来て稽古しています。なおかつ、2008 年から流経大の岩崎監督にお願いしまして、市内の我々の少年団と中学校に声をかけて、あと一部、高校に出られれば参加してくださいと内容を確認しながら、あとは、流経大の生徒と、そこの新しくできた道場で汗を流しています。コロナ禍で 3 年くらいできませんでしたが、今年久々にやったところ、非常に盛り上がり、継続的に先生にお願いしながら、地域として小学校でやった子供たちが中学校にいても指導できる。それは継続的に競技をできるように指導していけばいいのかなと個人的には考えています。同じような環境で各加盟団体ができるのかといたら難しい部分があります。そこをどうしていけばいいのかということも考えながら、流経大の皆様方に市からお願いしてやることも一つなのかなと。先行して、筑波大、谷田部東中学校が取り組んでいて、クローズアップされていますから、そういうところを見習いながらやっていってもいいのかなと思います。どうでしょうか。</p>
田籘会長	<p>ありがとうございます。 谷田部東中学校でつくばの学生に来ていただいてやった時の校長が今うちの附属高校にいます。附属の方は、そもそも校長先生が茨城県教育委員会に部活の地域移行の答申をしたということもあり、附属はその点については熱心ですね。しっかりと計画を立ててやっていくということでやっておりますが、一方で、附属は柏にありますので、なかなかうちの学生がお手伝いに行くところの話がまだ詰まっていないというのが現状です。でも、今ご意見いただきましたように、龍ヶ崎市においては本学の学生をぜひ使っていただいて。繰り返しになりますが、学生の教育といたしますか、実践で力をつけていくということで、場を提供していただければありがたいというふうに考えております。以上です。</p>
酒井委員	ありがとうございます。
田籘会長	<p>その他ございますでしょうか。よろしいでしょうか。 それでは随分一つ目の議事が長くなりましたが、議事(2)の「龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画の進捗管理について」事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(2) 龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画の進捗管理について 〔会議資料に基づき説明〕</p>
田籘会長	<p>はい、ありがとうございました。 ただいまの説明につきましてご質問等がございましたらお願いいたします。 それでは私から、先ほどの議事(1)のところ太田垣先生からご指摘がありました件についてですが、先ほど、今ご説明もいただきましたが、本市の龍ヶ崎市の子供たちが活躍したときに、サポートしていくということは一方で先生は勝利至上主義というふうにおっしゃいましたが、そこまででなくてもですね。やはり、政策的にそれをきちっともう少し説明がついてこぼれ落ちているようなところですね、しっかりとサポートしていく。やはりそういった両面で考えるというのは非常に重要かと思えますので。そうはいえ、この審議会でそこまで議論するというのはかなり範囲が超えているといたしますか。ですので、委員の先生方に、ここでご確認しておきたいなというふうに思いますが。今、いただきましたご意見について、今日の段階でここに細かく何か意見で反映していくというのは現実的には非常に難しいだろうと。とはいえ、非常に重要なご指摘でございますので、審議会としては、市全体として、もう一度きちっとそういったこぼれ落ちる部分についてもぜひ慎重に検討していただきたいというご意見で事務局にお渡ししたいと思っておりますが、いかがでしょうか。何か、いやいや待てという意見があれば、いただきたいと思っております。大丈夫ですか。よろしいですか。それではそういったことで、ぜひ。 その他にございますでしょうか。はい、お願いします。</p>
山崎副会長	<p>私個人的なお願いですが、事務局の方に。この資料が届いたのが火曜日です。私出かけていまして、実際に開封したのが翌日です。そうするともう昨日です。昨日でこ</p>

	<p>れだけの、私はたまたまいろんなところでずっと長年やっていたので、概ね大体検討つきませんが、初めての方、これのどこをどう見ていいのかわからないので、せめて1週間前以上には資料が手元にないと議論するなっていうのと全く一緒なので、もし配布資料があれば。基本的にこれだけの資料いらなと思いますので、抜粋事項でもいいですから、早めに資料の提出をお願いできればありがたいです。</p>
事務局	はい、すみません。以後気をつけます。
田籾会長	よろしく願いいたします。
池田委員	<p>すみません。何回も申し訳ございません。</p> <p>スポーツ推進委員として、まいりゅうコロコロ、令和元年から令和3年までコロナ禍の中、運動できなかつた時に開発した龍ヶ崎市独自、龍ヶ崎市発祥のニュースポーツですが、昨年度は実績通り、スポーツ推進委員20人を3グループに分けて、すべてのコミセンを3回以上回ろうということでやってきました。今年度も去年回れなかつたコミセンを、土日になります私はずでに4、5回ほとんど出ております。やっていたと、「わくわくドキドキして楽しい」という意見をたくさんいただいています。まいりゅうコロコロ、龍ヶ崎市発祥のニュースポーツですので、まだやっていない方はぜひよろしく願いしたいと思います。(学校関係では)昨年度は馴馬台小学校と龍ヶ崎小学校でも親子ふれあい活動でまいりゅうコロコロやってくださいという依頼がありスポーツ推進委員で出前講座もしました。皆さん何かサークルなどありましたら気軽にスポーツ推進課の方に言っていただければ私たち出前講座行きますので。宣伝になります、申し訳ございません。はい。以上です。</p>
田籾会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>その他、大丈夫ですか。よろしいでしょうか。</p>
池田委員	もう一つあるんです。
田籾会長	はい、どうぞ。
池田委員	<p>宣伝終わりましたので。</p> <p>上原支配人にお伺いしたいと思います。昨年、一昨年もたつのこアリーナで実施している年3回の大きいスポーツ大会、卓球、バドミントン、インディアカ、バウンドテニスなど申込みしましたが大会ができませんでした。というのは、コロナワクチン予防接種で会場を使っていたからです。当初コロナワクチン接種をし始めた頃は、私も納得していましたが、昨年は(接種)会場に来る人数も減り、お聞きしたところ100人弱しか来ていない。メイン会場であるアリーナを日曜日に利用できず、前日の土曜日会場準備のため利用できません。私としては、サブアリーナや空いている施設があればそちらの方を優先的に使っていただいて、あとは各医療機関でお願いしたい。龍ヶ崎市にある医療機関でもワクチン接種ができるということなので、スポーツを推進してたつのこアリーナの実績も出ているので、なるべくメインアリーナの会場だけは避けていただきたく、願っている次第です。上原支配人どうですか。コロナワクチンの時の会場の様子は。</p>
池田委員	はい、そうですか。すみません、司会じゃありませんでした。
事務局	<p>この件については、市でアリーナを使用したいと貸していただいているので、上原さんに回答させるのは申し訳ないです。</p> <p>私、健康スポーツ部では、新型コロナウイルスワクチン接種も部として担当しています。この後のワクチン接種に関しましては、9月からもう一度秋開始接種という形で集団接種が始まります。こちらは12歳以上だったと思いますが、高齢者だけではなく、いわゆる私ら世代、30代40代の人も含めて、国の計画では最後の集団接種です。6年度以降は集団接種というのは基本的には無くなると言われていました。令和6年度以降は各医療機関で個別接種だけで対応していくようになります。集団接種をやるときには、国から市にいろんな費用がきますが、6年度からはそのような費用が無くなることから、集団接種ではなく各医療機関での接種だけになるかと思えます。</p> <p>あと、どうしても集団接種を何回か組みますと、最後の頃には予約が入らず、先ほ</p>

	<p>どおっしゃられたとおり、1 日で 100 人足らずしか来ないということがあったのは事実でございます。アリーナでの集団接種ですが、最初の頃は1日1000人ずつ組み、大体1000人来ています。しかし、集団接種の最後の頃になるとどうしても100人とか200人しか来なくなり、競技をする方にとってはご迷惑をおかけしてしまったということではございました。</p> <p>今、春開始接種というので高齢者と基礎疾患のある人を対象にやっていますが、全体でまだ12,000人から14,000人ぐらい、個別の医療機関も含めて接種しています。どのくらいの時期になれば予約が少なくなるかというのを最初から見込むのがなかなか難しいですが、次の秋開始接種については、最後の頃に100人、200人にならないように進めていきたいと思っています。やはり人があまり来ないと、医師の方や看護師の方にもご迷惑かけてしまいますので。</p> <p>アリーナを使つての最後の集団接種になると思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>
池田委員	<p>ありがとうございました。メインアリーナを使わないで、サブアリーナや多目的室でもできるんじゃないかなって。流動的に（場所を変えても）いいかなって思います。サブアリーナですと後ろ（出入口）から出られるので。というような考えですけども。分かりました。ありがとうございます。</p>
田籾会長	<p>その他よろしいでしょうか。言い残したことはないでしょうか。大丈夫ですか。ありがとうございます。</p>
石川委員	<p>すみません。</p>
田籾会長	<p>はいどうぞ。</p>
石川委員	<p>この秋から始まるワクチン接種で、日曜日が多いと思いますが、この日が使えませんかというのはいつわかりますか。</p>
事務局	<p>すでにアリーナを予約している方に別日に変更してくださいということはないです。春の段階で春開始接種と秋開始接種があるというのがわかっていましたので、アリーナでの大会の開催状況など見まして、すでに日にちは押さえてあります。</p>
石川委員	<p>そうですか。</p>
事務局	<p>はい。これから大会を予定しているところに、集団接種を行いますので大会としてお貸しできませんよっていうことは今現在ありません。</p>
石川委員	<p>そうですか。それならよかったです。9月に行う大会はすでに要項も全て出していて、募集もしているので、8月末に中止ですと言われると困ってしまうので。</p>
事務局	<p>昨年度までにそのようなご迷惑をたくさんおかけしましたので、今年はそういうことがないように春の段階で調整しました。</p>
石川委員	<p>ありがとうございます。</p>
田籾会長	<p>はい、その他ございますでしょうか。よろしいでしょうか。 それでは議事。続きまして、議事(3)ですか。「進捗管理の中間報告廃止について」事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(3) 進捗管理の中間報告廃止について 〔事務局説明〕</p>
田籾会長	<p>はい、ありがとうございました。 ただいま事務局からのご提案について、何かご意見ございますでしょうか。 市の職員の方々の負担軽減ということが大前提としてあるということのご説明でしたので、本審議会においても、他の審議会と同様、今回ご提案いただいた中間報告については廃止ということで、よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>〔意見なし〕</p>

田兼会長	はい、ありがとうございます。それでは廃止ということでお願いいたします。その他何かございますでしょうか。特段ないでしょうか。ないようでありましたら、大変長くなりましたが、以上をもちまして本日の議事を終了させていただきます。どうもありがとうございました。
事務局	ありがとうございました。慎重審議ありがとうございます。それでは以上をもちまして、令和5年度第1回龍ヶ崎市スポーツ推進計画審議会を閉会させていただきます。本日はご出席ありがとうございました。
各委員	ありがとうございました。